

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニチイのきらめき平塚新築工	階数	地上2F
建設地	平塚市四之宮4丁目1803-1、1804-1、1804-2、1805	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	55人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年9月 予定	評価の実施日	2013年5月20日
敷地面積	2,588 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	1,167 m ²	確認日	2013年5月20日
延床面積	2,148 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

環境品質 Q (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.9)

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.9)

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.5)

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.0)

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.1)

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.4)

3 設計上の配慮事項		その他
総合 環境への配慮として、省エネルギー性を高めた建物とした。周辺地域へ溶け込む様に外装にも配慮し、敷地内にはできる限りの緑化を計画した。		
Q1 室内環境 1階ホール部は開放的な空間とし、居室の天井高2.4mとして快適な空間となるよう心がけた。	Q2 サービス性能 情報通信社会に対応し、ブロードバンドを設けている。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に合わせて外装材を選定し、できる限りの緑化を設けている。
LR1 エネルギー 建物内の断熱性を高めて熱負荷の抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材を分別しやすいように配慮している。	LR3 敷地外環境 周辺環境に配慮し、適切な量の自転車置場・駐車スペースを確保している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される